

公益財団法人平野政吉美術財団

平成 29 年度事業報告

<総括>

平成 29 年度 5 月、公益財団法人平野政吉美術財団は創立 50 周年を迎えた。この記念の年にふさわしい特別展「レオナルド・フジタとモデルたち」を、秋田県、秋田魁新報社、秋田テレビと実行委員会を組織して開催し、平野政吉と藤田嗣治の交流等について顕彰した。

その他の事業については、当財団の目的に沿い、平野政吉コレクション、藤田嗣治作品の展示公開、教育普及活動、および調査研究を行った。

秋田県立美術館は改修工事のため平成 30 年 1 月 4 日から 3 月末まで休館であったが、同館の指定管理者として、開館期間、休館期間ともに施設管理を適切に遂行した。

- ・ 展示公開事業は、常設展の他、企画展を 1 回、特別展を 3 回、開催した。財団創立 50 周年を記念する特別展「レオナルド・フジタとモデルたち」では、海外の作品を多数展示し、藤田嗣治の画業を生涯にわたって俯瞰した。とくにフランス・エソンヌ県議会所蔵の〈構図〉〈争闘〉と当財団所蔵《秋田の行事》とを同じ会場に展示することにより比較検証し、また秋田県立美術館建設に関連する平野政吉の業績についても紹介した。同展への来館者は、1920 年代の大作をはじめとする大規模な展観を堪能した。特別展「エロール・ル・カインの魔術展」は、絵本作家の世界観が伝わる大規模な展観が好評であった。特別展「反転するいのち一少女と人形の間一」は絵画と人形を展示し、ジャンルを横断した斬新な企画として注目された。
企画展「平野政吉の夢」は、平野政吉政吉コレクションの形成に焦点を当て、秋田に美術館が開館する経緯を辿る財団創立 50 周年にふさわしい展覧会であった。

- ・ 教育普及事業としては、年度を通して、講演会を 2 回、美術館教室を 2 回、ワークショップを 8 回、専門的美術講座を 1 回、ミュージアムコンサートを 1 回、出前授業を 1 回実施した。そのうち、特別展「レオナルド・フジタとモデルたち」展の関連イベントとして、藤田嗣治の研究者を招いた講演会を 2 回、児童・生徒を対象にしたワークショップを 3 回実施するなど、充実した事業を展開した。特別展「エロール・ル・カインの魔術展」では、絵本作りのワークショップの他、秋田県立図書館や秋田市立中央図書館と連携したイベントを開催し好評であった。特別展「反転するいのち一少女と人形の間一」の会期にあわせて専門的美術講座「いのちのデッサン」を開催。出品作家を講師に招き、展覧会との講座の一体化を図った。

- ・ 調査研究活動としては、藤田嗣治に関する研究成果を論文で発表した。展覧会に関連する調査成果については新聞寄稿として発表、また講演も行った。

・平成 29 年 11 月および平成 30 年 3 月に寄贈され、基本財産となった鴫田家資料と藤田嗣治作品について詳細なリストを作成し、今後の調査への基盤を作った。

- ・ 美術ホール運営事業は、同ホールで秋田県主催、マスコミ主催などの展覧会など比較的規模が大きい展覧会が多く開催されたことから、各主催者と綿密に打ち合わせを行い、展示作業等に協力的に対応した。平成 30 年 1 月 4 日から 3 月末までの休館中は、改修後

の美術ホールの利用促進について取り組んだ。また、特別展「エロール・ル・カインの魔術展」の会場としても美術ホールを活用し、大規模な展観を実現した。

- ・ 売店事業は、来館者へのサービスの一貫として、鑑賞をより豊かなものにするため、業者への委託販売とインターネットでの販売を展開した。

I 展示公開事業

(1) 常設展示事業

常設展 平野政吉コレクションⅠ

- 1 会 期 平成29年4月22日（土）～平成29年7月6日（木）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉と藤田嗣治が、まぼろしの美術館へ展観しようとしていた作品を中心に展示した。
- 4 入場者数 10,968人

常設展 平野政吉コレクションⅡ

- 1 会 期 平成29年7月11日（火）～平成29年8月31日（木）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治の油彩画、版画の中から、着衣の女性像を紹介した。
- 4 入場者数 12,265人

常設展 平野政吉コレクションⅢ

- 1 会 期 平成29年11月18日（土）～平成30年1月3日（水）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治は、中南米や中国で民族を描き分けようと意図していた。1930年代の油彩画とデッサンで、藤田のまなざしを紹介した。
- 4 入場者数 5,708人

(2) 企画展示事業

企画展 平野政吉の夢 ～壁画80年 コレクション公開50年～

- 1 会 期 平成29年4月22日（土）～平成29年7月6日（木）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 2017年は壁画《秋田の行事》が完成してから80周年、平野政吉コレクションの展観を目的にした秋田県立美術館の開館50周年にあたる。平野コレクションの核となる作品とともに平野家に遺された資料と写真で、平野政吉の夢が実現するまでの軌跡を紹介した。
- 4 入場者数 10,968人

(3) 特別展示事業

特別展 エロール・ル・カインの魔術展

- 1 会 期 平成29年7月11日(火)～平成29年8月31日(木)
2 会 場 ギャラリー1・2 県民ギャラリー
3 内 容 表現手法の多様さから「イメージの魔術師」と呼ばれた絵本作家、エロール・ル・カイン。本展では、絵本原画やスケッチ、資料などを、ル・カインの生い立ちと生涯に重ねて紹介した。東洋と西洋の美術様式を織り交ぜた絵本の豊かな色彩と幻想性、細密な描写による装飾性と多様なタッチ、繊細さと大胆さが交錯する構図など、ル・カインが描き出す世界は鑑賞者を魅了した。県外からのル・カイン愛好家の来館も多く、また初めてル・カイン作品に触れた来館者からも感動の声が寄せられた。絵本原画と絵本を見比べながら鑑賞してもらえるように、県民ギャラリーに設置した絵本コーナーが好評だった。
- 4 入場者数 12,265人

特別展 レオナルド・フジタとモデルたち展

- 1 会 期 平成29年9月9日(土)～平成29年11月12日(日)
2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2
3 内 容 藤田作品をモデルという視点から再検討し、1910年代の肖像画から1960年代の宗教画まで、藤田の画業を俯瞰する大規模展であった。フランス・エソンヌ県からの大作をはじめとする海外の作品、国内の名品、藤田を巡る資料等を展示した。最初の妻・鴫田とみに送った藤田の書簡、パリで撮影した写真などの多数の資料は、藤田を取り巻く人々との交流を彷彿とさせ、展示した作品と相まって充実した展観となった。また全国で4館を巡回した本展では、秋田会場の特色として〈構図〉〈争闘〉と《秋田の行事》の比較展示、藤田と平野政吉の交流の紹介、および格闘を主題とした藤田作品に注目した展示構成であった。来館者はじっくり鑑賞する方が多く、講演会、ワークショップなど関連イベントにも多くの方々に参加してください、開館50周年という節目の年の記念すべき展覧会となった。
- 4 入場者数 11,613人

特別展 反転するいのち—少女と人形の間—

- 1 会 期 平成29年11月18日(土)～平成30年1月3日(水)
2 会 場 ギャラリー1・2
3 内 容 人形をテーマにし、かつ絵画と人形というジャンルを横断的に展示した展覧会は、これまでにない斬新な企画として注目された。古くから歴史を刻んできた人形が、現代的な造形として、どのように表現されているのかを紹介した。出品作品は、日本の創作人形作家の第一人者である四谷シモンの代表作、またすずきすずよの少女と見まがうような人形、複数の人形が遊び飛翔する加藤貞子の絵画作品、人形をモデルにフランスの少女を描いた藤田嗣治の版画を展覧。4人の作家が表現した世界観や創作人形は鑑賞者を惹きつけた。若い女性の来館者が多く、なかには県外から足を運んだ方もいた。
- 4 入場者数 5,708人

※同時開催の展覧会の入場者数は、各々表記した。

II 教育普及事業

(1) 講演会等

特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチとモデルたち展」関連講演会

- 1 演 題 「フジタとモデルたち—乳白色の裸婦から群像表現へ」
- 2 実施日 平成29年10月1日（日）
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 佐藤幸宏氏（美術史家、レオナルド・ダ・ヴィンチとモデルたち展監修者）
- 5 内 容 特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチとモデルたち展」の監修者である美術史家・佐藤幸宏氏による講演会。ルノアールやモディリアーニとの交流とその影響、その後、乳白色の裸婦像を生みだし、ヨーロッパ美術史に名を残すことを目指して構想画に挑戦していくフジタの画業を紹介。ミケランジェロの天井画と〈構図〉〈争闘〉の人物モチーフの類似性、格闘する人体の表現など、興味深い内容に参加者は熱心に耳を傾けていた。
- 6 参加者数 51人

特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチとモデルたち展」関連講演会

- 1 演 題 「フジタの描いた女性たち」
- 2 実施日 平成29年10月29日（日）
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 横山由紀子氏（DIC 川村記念美術館学芸員）
- 5 内 容 横山由紀子氏は、フジタの妻だったユキの回想録に綴られたエピソードを織り込みながら、未完作《アンナ・ド・ノアイユの肖像》のモデルであるアンナの生涯と詩人としての業績と評価、そしてマルセル・ブルーストやジャン・コクトーなどアンナを取り巻く人々との交流を紹介。アンナが身にまとう瀟洒なドレスに注目し、1920年代のパリのファッションについても解説した。美術と文学の領域を超え、当時の芸術の潮流をひもとく内容に、参加者は聴き入っていた。
- 6 参加者数 44人

(2) 美術館教室・ワークショップ

美術館教室「米蔵の照度体験ナイトミュージアム」

- 1 実施日 平成29年5月14日（日）
- 2 会 場 レクチャールーム、大壁画ギャラリー
- 3 講 師 込山敦司氏（秋田県立大学准教授）
- 4 内 容 藤田嗣治が1937年に《秋田の行事》を制作した米蔵の構造や、あかりの基礎知識、美術館の照明環境などについてレクチャーを受けた後、閉館後の展示室へ。調光器などを使用し、制作時の米蔵の照度と色温度を再現した。80年前、平野家の薄暗い米蔵で《秋田の行事》を描いた藤田に思いを馳せる貴重なひとときとなった。
- 5 参加者数 33人

美術館教室「《秋田の行事》の商人町・外町を歩く」

- 1 実施日 平成29年6月25日（日）
- 2 会 場 レクチャールーム、秋田市大町、秋田市八橋
- 3 講 師 学芸員

- 4 内 容 平野政吉が財を築き、壁画に描かれた外町を、企画展「平野政吉の夢 ～壁画 80 年 美術館 50 年～」に連動する視点で、平野家の本邸跡や金子家住宅、《秋田の行事》に関連する日吉八幡神社を訪ねた。各訪問場所では、参加者が熱心に耳を傾け、今後も同様の教室を開催してほしいとの声が多かった。
- 5 参加者数 12人

ワークショップ「ささやくモビール」

- 1 実施日 平成29年7月16日（日）
- 2 会 場 レクチャールーム
- 3 講 師 学芸員・教育普及員
- 4 内 容 画用紙や折り紙で花やクラゲなどの色とりどりのモチーフを作り、糸でつないだ。針金の両端に吊り下げて左右のバランスをとり、一段、二段、三段とつなげて完成。出来上がったモビールは会場内に飾り、緩やかな風とともに軽やかに動き出した。初めてのモビールづくりに大人も子どもも真剣に取り組み、楽しいひとときとなった。
- 5 参加者数 14人

美術館教室「絵本読みきかせ」

- 1 実施日 平成29年7月22日（土）、7月29日（土）、8月26日（土）
- 2 会 場 県民ギャラリー
- 3 講 師 おはなしの会（ほくとライブラリー明徳館ボランティア）
- 4 内 容 特別展「エロール・ル・カインの魔術展」関連イベントとして絵本読みきかせを開催。情感たっぷりに語られるストーリーに、参加者は真剣な表情で聞き入っていた。
- 5 参加者数 26人

ワークショップ「夏休みのチョークアート」

- 1 実施日 平成29年7月30日（日）
- 2 会 場 レクチャールーム
- 3 講 師 学芸員・教育普及員
- 4 内 容 好きなもの、大切な思い出などをテーマに、オリジナルチョークアートに挑戦した。参加者は学芸員から説明を聞き、最初に下絵を描いた。その後、A4サイズの黒板に、オイルパステルで色塗り。色を重ねて、モチーフの明暗、ふわふわ、つるつるなどの質感を表現した。指でパステルをなじませ、グラデーションをつけて完成。鮮やかな色合いと立体感のあるチョークアートが完成した。
- 5 参加者数 15人

ワークショップ「ステンシル版画で絵本を作ろう！」

- 1 実施日 平成29年8月20日（日）
- 2 会 場 レクチャールーム
- 3 講 師 丸岡慎一氏（名古屋芸術大学講師）
- 4 内 容 絵本作家の丸岡慎一氏による、絵本作りワークショップを開催した。参加者は、カッティングマシンで切り抜いたシートにエアブラシをかけ、ステンシルの技法で、様々な動物が登場する物語を完成させた。専門的な道具立てで、参加者は楽しく取り組んでいた。
- 5 参加者数 21人

ワークショップ「乳白色の下地の秘密」

- 1 実施日 平成29年9月17日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 中右恵理子氏（東北芸術工科大学講師）
- 4 内容 東北芸術工科大学講師の中右恵理子氏によるワークショップ。はじめに、《欧人日本へ到来の図》（1929年）の修復時の調査結果をもとに、中右氏が藤田の地塗りについて画像で解説。続いて、8号カンヴァスに施された地塗り4種類を比較した。それらの地塗りは、チタニウムホワイトの油性地と、再現した藤田の地塗り。油性地と水性地が重ねられた藤田の地塗りにタルクを刷り込み、墨線がどのように引けるのかを体験。大学の調査研究が活かされたワークショップは、参加者にとって、藤田の技法を実感する貴重な機会となった。
- 5 参加者数 14人

ワークショップ「私はモデル～手作りドレスでポーズ！」

- 1 実施日 平成29年9月24日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 学芸員・教育普及員
- 4 内容 参加者は、紙などの身近な材料で華やかなドレスを作り、それぞれ身に付け、ポージングに挑戦。ポーズをとった参加者の輝くような表情がカメラに収められた。レオナルド・フジタが描いたモデルたちも、時に非日常的なポーズをとり、画面で存在感を放っている。今回、モデルとしてカメラの前に立った参加者たち。ふだんとは異なる特別な瞬間を体験することができたワークショップだった。
- 5 参加者数 18人

美術館教室「口笛シャンソン」

- 1 実施日 平成29年10月22日（日）
- 2 会場 ミュージアムラウンジ
- 3 講師 学芸員
- 4 奏者 柴田晶子氏（口笛奏者）、伊藤心（秋田大学附属中学校1年）
- 5 内容 藤田嗣治の画業を、活動の拠点であったパリを中心に解説。その後、パリにちなんで、シャンソンを中心とした曲目を口笛奏者の柴田晶子氏が演奏した。手回しオルゴールや映像とのコラボレーションも披露。「オーシャンゼリゼ」など一部の曲目では、2016年に口笛世界大会ジュニア部門で優勝した中学生・伊藤心君も共演。柴田氏の美しい音色の口笛と、心君ののびやかな口笛が、会場となったカフェラウンジに響き渡った。
- 6 参加者数 58人

ワークショップ「世界でひとつだけの小箱」

- 1 実施日 平成29年11月5日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 学芸員・教育普及員
- 4 内容 参加者は動物や和柄などの模様の型を選び、アクリル絵具によるステンシルに挑戦した。模様や色を自由に組み合わせて木箱を彩る活動に誰もが真剣に取り組み、参加者にとって、特別なひとつだけの小箱が完成した。
- 5 参加者数 14人

ワークショップ「土人形をつくろう」

- 1 実施日 平成29年12月3日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 安西大樹氏（造形作家）
- 4 内容 造形作家の安西大樹氏による指導のもと、紙コップと割り箸の芯にテラコッタ粘土をつけ、人形の成形までを体験。顔や髪、服など細かいところを整えるといった作業に参加者誰もが真剣に取り組んだ。乾燥させた後に焼成。個性豊かな作品が完成した。
- 5 参加者数 11人

ワークショップ「生命のデッサン—モデルは小さなバレリーナ」

- 1 実施日 平成29年12月10日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 加藤貞子氏（新制作協会会員）
- 4 内容 特別展「反転するいのち—少女と人形の間」の出品作家である加藤貞子氏を講師に迎えた専門的美術講座。加藤氏は冒頭で、西洋美術史に名を刻む画家たちによるデッサンの奥義を紹介。実技では、バレリーナのポーズ取る姿を描き、人物デッサンの楽しさを堪能した。
- 5 参加者数 20人

ワークショップ「館長の陶芸講座」

- 1 実施日 平成29年12月17日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 館長 平野庫太郎
- 4 内容 陶芸家でもある館長が制作した作品を含めた、多様な陶芸作品を手にしながら、参加者たちは形や色、手触り、音など色んな感覚を使ってやきものを楽しんだ。陶芸の歴史や技法についてのお話もあり、充実した時間となった。
- 5 参加者数 16人

ワークショップ「ガーランドをつくろう」

- 1 実施日 平成30年2月3日（土）、4日（日）
- 2 会場 にぎわい交流館 AU1階
- 3 講師 学芸員・教育普及員
- 4 内容 なかいちウインターパーク「童っこの雪まつり」において、ワークショップ「ガーランドをつくろう」を開催。子どもたちが美術館スタッフのアドバイスを受けながら、三角の台紙に好きな形の紙をのり付け。カラフルなガーランドを完成させた。
- 5 参加者数 154人

(3) ギャラリートーク

企画展「平野政吉の夢～壁画 80年 コレクション公開 50年～」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成29年4月22日（土）、5月20日（土）、6月17日（土）
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 参加者数 33人

特別展「エロール・ル・カインの魔術展」ギャラリートーク

- 1 事業名 スペシャルギャラリートーク
- 2 実施日 平成29年7月15日(土)、8月19日(土)
- 3 会場 県民ギャラリー、3階ギャラリー
- 4 講師 田丸美穂氏(秋田県子ども読書支援センター子ども読書アドバイザー)
学芸員
- 5 内容 秋田県立図書館・秋田県子ども読書支援センター子ども読書アドバイザー、司書の田丸美穂氏と当館学芸員によるスペシャルギャラリートークを開催した。田丸氏には、司書ならではの視点から絵本のあらすじや作者について解説、続いて学芸員が作品のモチーフや構図について説明した。絵本原画の前では、絵本の朗読も行われ、ル・カイン作品の魅力を堪能できるひとときとなった。
- 6 参加者数 80人

特別展「レオナルド・フジタとモデルたち展」ギャラリートーク

- 1 事業名 AKT アナウンサー×担当学芸員 ギャラリートーク
- 2 実施日 平成29年9月9日(土)
- 3 会場 大壁画ギャラリー、3階ギャラリー
- 4 講師 八代星子(AKTアナウンサー)
学芸員
- 5 内容 AKT 秋田テレビアナウンサー・八代星子氏と担当学芸員によるギャラリートーク。八代氏の機知に富んだトークと学芸員の詳細な解説により、作品への理解が深まり、フジタやそのモデルたちに思いを馳せるひとときとなった。
- 6 参加者数 44人

特別展「レオナルド・フジタとモデルたち展」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成29年9月9日(土)・10月14日(土)・11月11日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 参加者数 78人

特別展「反転するいのちー少女と人形の間」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成29年11月18日(土)・平成30年1月1日(月)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 参加者数 23人

特別展「反転するいのちー少女と人形の間」作家によるギャラリートーク

- 1 実施日 平成29年12月9日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 講師 加藤貞子(新制作協会会員)
- 4 参加者数 46人

常設展関連 定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

- 1 実施日 毎月第1土曜日・8月3日・4日・5日・6日
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 参加者数 135人

Ⅲ 調査研究事業

1. 論文

- ・原田久美子「藤田嗣治の日本表象について―壁画《秋田の行事》と映画「現代日本」を中心に―」（『鹿島美術研究年報』第25号別冊、平成29年11月）

2. 作品解説

- ・原田久美子「藤田嗣治《秋田の行事》」（『國華』1416号、平成29年10月）

3. 新聞寄稿

- ・佐々木佳苗 特別展「エロール・ル・カインの魔術展」出品作品（「パフィンズ・プレジャー」、「キューピッドとプシケー」）解説（『秋田魁新報』ギャラリーと〜く、平成29年7月19日）
- ・原田久美子 特別展「レオナルド・フジタとモデルたち展」出品作品（藤田嗣治《ライオンのいる構図》藤田嗣治《横綱栃木山の像》）解説（『秋田魁新報』ギャラリーと〜く、平成29年9月13日）
- ・原田久美子 特別展「レオナルド・フジタとモデルたち展」出品作品（藤田嗣治《アナ・ド・ノアイユの肖像》、藤田嗣治《婦人像》）解説（『秋田魁新報』ギャラリーと〜く、平成29年9月20日）
- ・原田久美子「〈構図〉〈争闘〉《秋田の行事》―藤田嗣治と平野政吉」（連載6回）（『秋田魁新報』、平成29年10月から11月）
- ・原田久美子 特別展「反転するいのち―少女と人形の間―」出品作品（加藤貞子《人形衆VI》、四谷シモン《機械仕掛の少女1》）解説（『秋田魁新報』ギャラリーと〜く、平成29年12月20日）

4. 講演会

- ・原田久美子「藤田嗣治と東北―壁画《秋田の行事》をめぐって―」（いわき市立美術館・レオナルド・フジタとモデルたち展関連講演会、平成29年5月7日）
- ・佐々木佳苗「藤田嗣治は相撲が好き！―特別展「レオナルド・フジタとモデルたち展」に寄せて」（秋田県生涯学習センター・あきたスマートカレッジ連携講座、平成29年9月13日）

Ⅳ 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

1. 事業内容

- ①平成30年1月4日から3月末まで、美術ホールの利便性向上を主な目的として改修工事が行われ、休館したことから、美術ホールの貸出は平成29年4月1日から平成30年1月3日の9ヶ月間であった。
- ②県民ギャラリーの使用者に対しては展示構成を確認し、展示作業の補助および作業監視を行った。
- ③休館中は、改修後の美術ホールの利用促進を図るため、シェアギャラリーの広報などに取り組んだ。
- ④美術ホールと展示室の一体的な利用を促進した。
 - ・特別展「エロール・ル・カインの魔術展」では、3階展示室と美術ホールをあわせて会

場とし、大規模な展観を実現した。

- ・児童・生徒のセカンドスクールや職場体験の一環として、美術ホールの展覧会と展示室の藤田嗣治作品をあわせて鑑賞する機会を設け、美術館全体についての理解を深めてもらった。

2. 実績

総入場者数 36,426人

- ・フェルメールとレンブラント オランダの2大巨匠展 リ・クリエイトでよみがえる光と影の競演、主催：AKT秋田テレビ、5月3日（水）～5月25日（木）
入場者数：5,116人
- ・秋田県美術展覧会 写真部門展示、主催：秋田魁新報社、6月29日（木）～7月5日（水）
入場者数：2,043人
- ・ねんりんピック秋田2017美術展、主催：秋田県長寿社会課ねんりんピック推進室、9月9日（土）～9月12日（火）、入場者数：1,426人
- ・県民作品展2017、主催：秋田県教育庁生涯学習課、10月7日（土）～10月22日（日）、入場者数：2,626人
- ・アートたけし展、主催：AAB秋田朝日放送、11月23日（木）～12月24日（日）
入場者数：5,767人

V 売店事業

1. 事業内容

- ・インターネットでの《秋田の行事》額絵販売。
- ・秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者・光風舎へ委託販売。

2. 実績

・売り上げ総計 28品 4,239枚

内訳

《秋田の行事》レプリカ	642枚
《秋田の行事》額絵	48枚
クリアーファイル	889枚
絵はがき17種	2,400枚
その他	1枚
トートバッグ	259枚

※事業の詳細は、付属明細書のとおり